

本日(10月10日)の弊社設定ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社のファンドに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社で設定・運用しております公募投資信託のうち、下記のファンドについて本日10月10日の基準価額が5%を越す下落となりましたので、お知らせいたします。

【基準価額が5%超下落した弊社ファンド】

本日(10月10日)、基準価額の下落率が5%を超えた公募ファンドは以下の通りです。

ファンド名	基準価額 (10/9)	基準価額 (10/10)	変化率
アイエヌジー・海外株式オープン	6,499 円	6,108 円	-6.02%
アイエヌジー・日本株式オープン	3,864 円	3,603 円	-6.75%

【主要株価指数の動向】

株価指数(※)	10月8日終値	10月9日終値	変化率
ダウ工業株 30 種平均(米国)	9,258.10	8,579.19	-7.33%
FT100 指数(英国)	4,366.69	4,313.80	-1.21%
DAX 指数(ドイツ)	5,013.62	4,887.00	-2.53%
CAC40 指数(フランス)	4,054.54	3,963.28	-1.55%
TOPIX(東証株価指数)	905.11	840.86	-7.10%

※海外の株価指数は10月8日と10月9日の基準価額計算に対応する現地日付の終値です。なお、TOPIXは10月8日と10月9日の終値を表示しています。

(出所)ブルームバーグ

【為替レートの動向】

為替レート	10月9日の評価値	10月10日の評価値	変化率
ドル/円	99.98	99.12	-0.86%
ユーロ/円	135.78	134.34	-1.06%
英ポンド/円	171.97	168.84	-1.82%
豪ドル/円	66.80	66.24	-0.84%

※為替レートは投資信託協会公表の評価レートを表示しています。

(出所)ブルームバーグ

【基準価額下落の要因】

当該ファンドの基準価額が下落した主な要因のうち、海外の株式を実質的な主要投資対象とするファンドの場合は海外の株式市場の下落と主要通貨に対する円高、日本の株式を実質的な主要投資対象とするファンドの場合は日本の株式市場の下落となっております。

【海外株式】

10月9日の欧州株式市場は、前日の急落に対する自立反発から比較的しっかりと展開が始まりましたが、依然として金融機関に対する不透明感が根強く、米国株式市場が前日比マイナスに転じると、連動して下落となりました。

主要指数は、英国の FT100 指数が 1.21%、ドイツの DAX 指数が 2.53%、フランスの CAC40 指数が 1.55%の下落となりました。

米国株式市場は、9日から「空売り規制」が解除されたこともあり、先行き不透明感から大きく下落しました。大手金融機関の株価が軒並み下落したほか、ゼネラル・モーターズ(GM)などの自動車株が資金繰りに対する不安から急落しました。発表された経済指標も景気の悪化を示すものとなりました。

主要指数ではダウ工業株30種平均が7.33%の急落で9000ドルの大台を割ったほか、S&P500種株価指数は7.62%、ナスダック総合指数は5.47%の下落となりました。

【日本株式】

日本の株式市場は、上記の海外株式市場の流れを引き継いだほか、前日に国内の上場REIT(不動産投資信託)が初めて破綻したこと、および10日の午前中に国内生命保険会社が破綻したとの報道を受けて、大幅な下落となりました。外国為替市場で円高が進んだことから日経平均は一時1,000円を超える下落となり、全面安となりました。

【外国為替市場】

外国為替市場では依然として円高の動きが続きました。前日までの急速な円高ではなかったものの、依然として投資家のリスク回避姿勢が強く、円売りポジションを解消する動き(キャリー取引の巻き戻し)が続きました。

以上

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客様が実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。

投資信託に関する留意事項

●投資信託にかかるリスクについて

投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって、投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、これを割込むことがあります。

投資信託はファンド毎に投資対象資産の種類や投資対象国、投資制限等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際には、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。

●投資信託にかかる費用について

(投資信託のご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。)

■お申込時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料 お買付金額に対して最大 3.15% (税抜き 3.0%)

■ご換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額 ご換金時の基準価額に対して最大 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬 純資産総額に対して最大年率 1.89% (税抜き 1.8%)

■その他費用として、上記以外に保有期間等に応じて信託財産からご負担いただく費用があります。

●投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

●銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

【ご注意】

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アイエヌジー投信株式会社が運用するすべての追加型公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最大の料率を記載しております。

投資信託のリスクならびに費用の詳細につきましては、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。